

本校における現職教育

足利市御厨小学校教諭 富永烈治

1 現職教育の方針

本年度、本校における現職教育は、教職員各自の資質向上をはかるとともに、御厨小学校教育をより充実させるため、つぎのように行なうことにする。

- (1) 原則として毎水曜日を研修日とし、自主的、意欲的に研修をする。
- (2) 教科指導、服務、学校運営、学年、学級経営等専門教養の研修をする。
- (3) 社会科、算数科、理科、体育科の指導法、教材研究については指導主事の訪問を年3回以上要請し授業研究をする。(低・中・高)
- (4) 各自一般教養を身につけるようにつとめる。
- (5) 校内研修の充実をはかるとともに校外の研修にも参加し、その研修を有効に生かすように努力する。
- (6) 研修会、講習会等の報告は研修日以外にでもプリント等を利用し、短時間に実施し効果をあげる。
- (7) 計画した日に実施できなかった時は、その週中に振替実施するようにつとめる。
- (8) 職員会ならびに研修の日には可能なかぎり講習会、研修会等の報告を行なうようにする。

備考

水曜日を全校五時間授業とする。

指導放問が水曜日以外の日にあった場合は、水曜日と入れ替え授業により、研究時間をうみだした。

2 現職教育計画

現職教育計画は三月中に作成し、この計画をもとにして、指導者の要請をする。

現 職 教 育

月 日	曜日	目 標	内 容	担 当
4/5	水	本校の教育計画・法規研修	教育目標・経営方針・重点目標・努力点の徹底	教 頭
4/6	木	校務分掌の計画(研修)	各校務分掌の計画についての話し合い	係 主 任
4/7	水	テスト標準化研究・学年学級経営計画	テストの標準化, 学年・学級経営計画の作成	教 務 部 学 年 主 任
4/12	木	校内体育実技研修	ボール運動についての研修	体育研究部
4/19	水	教 科 研 究	国・算・社・理各教科本年度の研究テーマの決定	教 務 部
4/26	水	特殊教育研究	特殊学級開設準備について	特 殊 教 育
5/10	水	教 科 研 究	図工・音楽・家庭・体育・道徳の研究テーマの決定	教 務 部
5/17	水	校内体育実技研修	ボール運動	体育研究部
5/24	水	算数科指導法研究	指導法研究	算数科研究部
5/30	火	体育科指導法研究	指導法および実技(陸上)	体育研究部
5/31	水	職員会および研修		
6/1	木	校内体育実技研修	リズム運動	体育研究部
6/7	水	社会科指導法研究	指導法の研究と指導主事の講話	社会科研究部
6/14	水	理科指導法研究	指導法の研究	理科研究部
6/21	水	水泳指導研修	プール管理, 救助法について	体育研究部
6/28	水	校内体育実技研修	水泳の段階的な指導法	体育研究部
7/5	水	評価についての研修	教科, 行動その他の評価について	教 務 部
7/12	水	児童指導についての研修	夏休みの過ごし方	児童指導部
7/19	水	職員会および研修		
8/2	水	理科研究会	理科教材研究	理科研究部
8/17	金	特殊教育研修	特殊学級開設について	特 殊 教 育
8/23	水	学校評価	学校評価の方法研修	教 頭
8/30	水	職員会(運動会について)研修(リズム)	運動会についての大綱 運動会リズム	体育・行事
9/1	金	職員研修	研究集会の報告	教 務 部
9/6	水	研修および報告	研究集会の報告	教 務 部

計 画 表

足利市立御厨小学校

指 導 者	参加者	時 間	留 意 点	備 考
校 長	全職員			
	全職員	午 前 午 後	速急に年間計画の作成	
一 中 増田先生	全職員	午 前 午 後	知能偏差との相関々係を知る 学校経営目標、努力点を考慮し系統的に立案	
体 育 部 員	全職員	2時間	ボール運動実施後バレーボールの試合をする	
教 科 主 任	全職員	2時間	教科研究部ごとに分かれる。いずれかに行はる	
市教委厚木指導主事	全職員	2時間		
教 科 主 任	全職員	2時間	教科研究部ごとに分かれる	
体 育 部 員	全職員	2時間	校庭で実施、雨天の場合はリズム	
市教委川上指導係長	全職員	2時間	授業者は低・中・高より各1名	
大 和 田 指 導 主 事	全職員	2時間	授業者は低・中・高より各1名、午後実技	
体 育 部	全職員	2時間	講堂で実施	
市指導主事茂呂先生	全職員	2時間	指導主事の講話を主とする。低・中・高1名	
市指導主事厚木先生	全職員	2時間	授業者、低・中・高より各1名	
体育部員・養護教諭	全職員	2時間		
体 育 部	全職員	2時間	水泳指導計画を作成し用意する	
教 務 主 任	全職員	2時間	通信票を用意する	
児 童 指 導 主 任	全職員	2時間		
	全職員			
市指導主事厚木先生	全職員	午前中		
〃	全職員	〃		
市 指 導 主 事	全職員	〃		
体 育 部 員	全職員	午 前 午 後	創作表現の指導法	
研究集会参加者	全職員	2時間	報告者はプリント等を用意	
研究集会参加者	全職員	2時間	報告者はプリント等を用意	

9/8	金	体育科指導法研究	指導法・団体競技・集団行動	体育研究部
9/13	水	算数科指導法研究	指導法研究	算数科研究部
9/20	水	校内体育実技研修	運動会リズム	体育研究部
9/27	水	職員会および研修	研究会, 講習会報告	教 務 部
10/11	水	研修および報告	研究会, 講習会報告	教 務 部
10/18	水	社会科指導法研究	指導法の研究	社会科研究部
10/25	水	校内音楽研修	合奏, それぞれの楽器の奏法, 取り扱い	音楽研究部
11/1	水	法規研究	職員の服務について	教 頭
11/7	火	体育指導研究会	指導法および実技(器械)	体育研究部
11/15	水	国語科指導法研究	作文指導研究会	国語科研究部
11/22	水	校内体育実技研修	器械運動	体育研究部
11/29	水	職員会並研修会		
12/6	水	社会科指導法研究	授業研究	社会科研究部
12/13	水	校内体育実技研修	ボール運動(サッカー, ポートボール)	体育研究部
12/20	水	職員会並研修		
1/10	水	体育実技研修	ボール運動(サッカー, ポートボール)	体育研究部
1/17	水	算数科指導法研究	算数科指導法研究会	算数研究部
1/24	水	特殊教育研究	特殊学級開設について	特殊教育研究部
1/31	水	理科指導法研究	理科指導法研究会 電気材料を中心として	理科研究部
2/1	水	校内体育実技研修	リズム(創作・表現)	体育研究部
2/7	水	特別研究委員会	今年度の反省・明年度の計画	教 頭
2/14	水	"	"	"
2/21	水	"	"	"
2/28	水	"	"	"
3/6	水	"	"	"
3/13	水	特殊教育研究	特殊学級開設について	特殊教育研究部
3/19	火	昭和43年度教育計画研究	市教委 昭和43年度教育指導計画並方針の研究	教 務 部
3/29	金	昭和43年度学校経営計画研究	昭和43年度経営の方針, 努力目標努力点, 具体策の研修	教 頭

県教委大和田指導主事	全職員	2時間	授業者低・中・高より各1名	
市教委川上指導係長	全職員	2時間	授業者低・中・高より各1名	
体 育 部 員	全職員	2時間	雨天の場合講堂	
研究会講習会参加者	全職員	2時間	報告者はプリントを用意	
研究会講習会参加者	全職員	2時間	〃	
市教委茂呂指導主事	全職員	2時間	授業者は低・中・高より各1名	
音 楽 部 員	全職員	2時間	持参するものハーモニカ・笛	
校 長	全職員	2時間		
県教委大和田指導主事	全職員	2時間	授業者は低・中・高各1名	
市教委時田指導主事	全職員	2時間	授業者は低・中・高各1名	
各 学 年 1 名	全職員	2時間	指導者は各学年1名出て学年の教材を扱う	
	全職員	2時間		
市教委茂呂指導主事	全職員	2時間	研究テーマにそった授業、授業を中心とした話し合い	
体 育 部	全職員	2時間	校庭使用 雨天の場合講堂でリズム	
	全職員	2時間		
体 育 部	全職員	2時間		
市教委川上指導係長	全職員	2時間	授業者は低・中・高より各1名	
市教委厚木指導主事	全職員	2時間	家庭状況、入級の可否の資料持参	
市教委厚木指導主事	全職員	2時間	授業者低・中・高各1名 午後電気教材の研究	
体 育 研 究 部	全職員	2時間	講堂使用	
研 究 委 員	全職員	2時間	研究ブロックごとに分かれて実施	
〃	全職員	2時間	〃	
〃	全職員	2時間	〃	
〃	全職員	2時間	〃	
教 頭	全職員	2時間	各研究ブロックにわかれて研究	
市教委厚木指導主事	全職員	2時間	全職員の意識をもりあげる	
校 長	全職員	2時間	昭和43年度教育指導計画、方針持参	
校 長	全職員	2時間		

3 実践記録

4月5日 教育計画について 校長

- (1) 昭和42年度 教育計画の徹底
 - ・学校教育目標
 - ・学校経営方針
 - ・重点目標
 - ・努力点
- (2) 学年経営, 学校経営計画の樹立について
- (3) 学年経営計画樹立の学年打ち合わせ

4月6日 職員研修 校長

- (1) 法規研修
 - 足利市立学校管理規則, 服務規定の読み合わせ 説明
 - 校内現職教育資料(職員の服務について)
 - ・教頭の職務権限について
 - ・年次休暇について
 - ・校長の校舍・校地の管理権限
 - ・学校事故に対する責任
 - ・休憩時間について
 - ・職務専念義務
 - ・服務の宣誓
 - ・勤務を要しない日と休日の関係
- (2) 校務分掌ごとの年間計画の樹立研究

4月7日 テストの標準化研究 一中教頭 増田先生指導

- (1) 標準化をすることについて
- (2) 標準偏差の簡便算出法
- (3) 簡便な標準偏差の推定法
- (4) 簡単な標準得点の求め方
- (5) 順位からパーセンタイル順位を求める法
- (6) 度数分布表からパーセンタイルを求める法
- (7) 計算図表の使い方

4月12日 校内体育実技研修 木村教諭指導

ボール運動の系統的指導について

- (1) ころがしドッチボール
- (2) 円形ドッチボール
- (3) 方形ドッチボール
- (4) ラインサッカー
- (5) 簡易サッカー
- (6) ポートボール

以上各学年に応じた指導の重点をおさえる。

4月19日 教科研究 清水教諭指導

本年度の研究テーマの決定

国語, 算数, 社会, 理科

各教科ごとに研究し決定する。

研究教科 理科

昭和42年度

研究委員氏名 小堀, 石島, 堀越, 金塚

研究テーマ

理科資料の整備

設定の理由

資料が完備されていないので、学年別に使い易く整備する。

研究方法

資料(実験観察器具, 視聴覚教材等)の学年別系統表を作り、学年別に管理する。

研究計画

第1学期

学年別系統表を作成する。

第2学期

学年別系統表にもとづいて資料を作成, 収集する。

第3学期

資料の整理・保管をする。

研究教科 算数科

昭和42年度

研究委員氏名 宮永, 真尾, 桜井, 須永, 荒井, 卯月

研究テーマ

図形教材を効果的に指導するために教具をどのように活用したらよいか。

設定の理由

学力調査の分析の結果、量と測定、図形に関する能力が非常に劣っていることがわかった。しかも図形に対しては、その対策として図形に関する教具を購入整備したが、活用が十分でないのが現状である。そこで教具を十分に活用し指導すればまだ能力が伸びると考えられるので、このテーマを設定した。

研究方法

各学年の算数研究員が、該当学年の教材を研究し、教具の適切な使用法をまとめる。

研究計画

第1学期

- ・実態調査と分析(各学年の研究員が問題を作成し、該当学年に実施分析する)
- ・教材と教具の配当一覧表の作成

第2学期

- ・指導法の研究(該当学年の図形教材について、指導法の研究をする)

第3学期

- ・評価と反省

研究教科 社会科学

昭和42年度

研究委員氏名 清水, 山本, 秋山, 柴崎

研究テーマ

資料の整備と活用

設定の理由

資料がほとんどなく、また活用のしかたも不十分であるので

研究方法

単元資料表を作成する。

資料表にもとづいて資料の整備をする。

研究計画

第1学期

・単元資料表を作成する。

第2学期

・資料にもとづいて授業研究をする(資料の位置づけと活用のしかた)

第3学期

・資料の整理をし、すぐ使えるようにする。

研究教科 国語科

昭和42年度

研究委員氏名 斎藤, 長谷川, 木村, 高田, 丸山, 小島

研究テーマ

作文の指導における指導過程はどのようにしたらよいか。

設定の理由

昨年度まで読解における語いの定着と拡充を中心に扱い、いちおう軌道にのったため、本年度はその語いを活用し、表現活動(書く)することにより、よりいっそうの語いの定着をはかりたい。

研究方法

国語科における作文指導の指導課程をピックアップし、それを整理し、系統性を明確にする。

そのために各学年で話し合い、研究部が中心に、それをまとめ、全体で検討する。

研究計画

第1学期

・国語科における作文の位置づけ。

・各学年における作文指導の指導課程の作成(夏休み中、時間をとり完成)

◎6月 虫歯予防デー標語募集に参加

第 2 学 期

- ・指導法研究（研究授業）
- ・10月 ブロック内における相互研究
- ◎10月 目の愛護デー標語募集に参加
- ◎読書感想文の募集に参加

第 3 学 期

- ・ま と め
 - 学校文集の指導作成（編集をのぞく）
 - ◎足利の子
 - ◎青少年の生活文
 - ◎3月 耳の日標語
- } の募集に参加

4月26日 特殊教育研究

足教委 厚木指導主事指導

特殊学級開設準備として指導を受ける

- 特殊学級入級児童の判別について

本校の実態を堀越教諭が説明する

1. 客観的な資料によって調査すること
2. 特殊学級の編成について
3. 親に入級を説得する方法
4. 教育的治療を施すものを対象とする
5. 親の心理をなおす
6. 特殊教育の啓もう

5月10日 教科研究

清水教諭指導

本年度の研究テーマの決定

図 工 音 楽 家 庭 体 育

各教科ごとに研究し決定する

研 究 教 科 体 育 科

昭和42年度

研究委員氏名 木村, 小島, 清水, 秋山, 石島, 斎藤

研 究 テ ー マ

本校における体力づくりをどのようにすすめたらよいか

体力づくりの方法に関する具体的研究

設定の理由

前年度実施のスポーツテスト結果の反省から、けんすい力、調整力(ジグザグドリブル)をはじめ、いくつかの劣っている面と、走跳投の基礎能力に力不足が感じられるので、これが研究によって、くぼんでいる面を具体的にどのようにくふうし、体力をつけるかを研究したい。

研究方法

1. 5.6年のスポーツテストの実施に即応して、低学年・中学年もこれに類するできる限りの調査を行ない、体育部員を中心に追せき的に問題点を研究し合う。
2. スポーツテストの結果をもちより、低・中・高ブロックごとに教科時の体力をつけるための各種方法を研究して(系統性を考え)まとめ、体育時にとり入れられるようにする。

研究計画

第1学期

1. 自校体操、低・中・高学年用を作る。—— 実施にうつせるようにする。
2. 前年度のスポーツテスト、今年度のスポーツテスト実施とその反省、研究分析。
3. 走・跳・投・けんすい等のサーキットを作る —— 実施にうつせるようにする。
4. スポーツテスト結果の活用についてまとめられるようにする。
(教科時の体力つくりの方法と関連して)
5. 1学期中の体育関係行事の研究、実施、運動能力検定の研究

第2学期

1. 体育運動の生活化について研究、推進する。それにとまなり施設設備の研究、充実

第3学期

1. スポーツテストと、ついせき調査と反省、まとめの研究話し合い。次年度の参考に資する。

研究教科 家庭科

昭和42年度

研究委員氏名 長谷川、豊田、影山

研究テーマ

学習(特に調理、被服)指導の効果的なすすめ方はどうあるべきか。

設定の理由

- ① 教育課程全国共通問題との関連
- ② 技能的な面の指導法を研究して効果的にすすめることは、家庭科学習を楽しくするものであり、家庭科の使命である実践面へ大きく役だつと考える。

研究方法

研究委員や担当教員が集って授業に役だつ資料づくりをする。

研究計画

第1学期

資料づくり(被服関係 — 見本)

第 2 学 期

資料づくり(調理関係—揭示用)

第 3 学 期

資料づくり(教室常掲用)

備 考 資料づくりの細案については市研究会紹介のテキストによるので現在のところ未定。

研 究 教 科 図 工 科

昭 和 4 2 年 度

研究委員氏名 真尾, 荒井, 小堀, 丸山

研 究 テ ー マ

「表現意欲を活発にさせるためには、どのような指導をするのが効果的か」

(「絵をかく」領域において)

設 定 の 理 由

本年度の市の研究テーマに準じ、また、本校においても、児童の図工科における表現意欲は、全学年を通じ極めて低調である。したがって少しずつでも表現意欲を高めるため、このテーマを設定した。

研 究 方 法

① 表現意欲を活発にさせるには、少なくとも、導入あるいは導入以前に題材と子どもをつなぐ何ものがなくてはならない。つまり、この指導を、より効果的にするには、ぜひ資料が必要と考え、各学年別、題材別の系統指導資料表を作成することにした。

(㊦ 真尾 ㊧ 荒井 ㊨ 丸山, 小堀)

② その系統指導資料表に即して指導を行い、その結果をみる。

③ 各種の作品展に応募し、日ごろの成果をためし、反省をする。

④ ㊦・㊧・㊨別に資料を確保し、第3学期に資料のまとめおよび整理をする。

研 究 計 画

第 1 学 期

① 各学年別、題材別、系統指導資料表の作成。

② 鑑賞コーナー設備

※ 巡回展作品応募

第 2 学 期

① 資料表にもとづく指導をし、表現活動をさせる。

※ 芸術祭美術展に応募

年賀状版画展に応募

第 3 学 期

① 資料表に即した資料のまとめ及び整理をする。

※ 生活版画展(地区) } に応募
" (県展) }

研究教科音楽科

昭和42年度

研究委員氏名 山本, 柴崎, 須永

研究テーマ

楽器指導の内容を学年に応じて, どうおさえたらいいか。

設定の理由

学年に応じた楽器指導を徹底させるため

研究方法

各学年の指導内容の領域を調べる。

研究計画

第1学期

楽器の整備をする。

第2学期

合奏, それぞれの楽器の奏法, 取り扱い

第3学期

各学年の楽器の指導内容の系統表づくり

5月17日 校内体育実技研修

木村教諭指導

1. ソフトボールの効果的指導について

(1) チームの編成について

(2) ソフトボールの方法について

ア 一般的な主要ルールについて イ ポジションについて

ウ 投捕球について(ゴロ, フライ, その他) エ フットワークについて

オ ビッチャーの投球について カ バットの持ち方について

キ バッティングの方法について ク ストライクゾーンについて

(3) 二組に分かれて練習試合

5月24日 職員研修

校外勤務により研修された内容の報告

◦教育計画について

校長

◦保健教育について

豊田教諭

◦理科講習会

石島教諭

◦体力づくりについて

木村教諭

5月30日

体育科指導法の研究を予定していたが, 教科研究日となり中止する。

6月6日 算数研究会

足教委 川上指導係長指導

1. 研究授業

指導者

題材

- 2の3 堀越教諭 けいさん2
 4の3 金塚教諭 乗法計算のくみたて
 6の3 小島教諭 時間と分数

2. 研究したおもな内容

- ・発見させようとする態度の養成
- ・線分図の扱い方
- ・数学的なおもしろさを味わせる方法
- ・たしかめる方法
- ・評価について

6月13日 足利市立学校教科研究会 (算数担当)

6月16日 社会科研究会 足教委 茂呂指導主事指導

1. 研究授業

指 導 者	題 材
2の1 真尾教諭	のうかのしごと
3の2 柴崎教諭	工場のあるところ
6の4 小堀教諭	大陸文化と聖徳太子

2. 研究したおもな内容

- ・視聴覚の利用について 2年
- ・目標のたて方について 2年
- ・評価の観点および方法 全学年
- ・思考のさせ方 3年
- ・事例観察のさせ方 3年
- ・時代の特色は握 6年
- ・年表の扱い方

6月21日 水泳指導研修 木村教諭指導

学校プール管理、運営と指導計画

- | | |
|-----------------|----------------|
| 1. 目 的 | 1 2. 年間利用計画 |
| 2. 水泳管理 | 1 3. 実施方法 |
| 3. プール管理 | 1 4. 指導および時間 |
| 4. 水泳指導係 | 1 5. 服装および携行品 |
| 5. 用具、備品の管理と係 | 1 6. 脱衣について |
| 6. 用具備品管理係の役割 | 1 7. 水泳指導特別時間割 |
| 7. 衛生管理係 | 1 8. 備 考 |
| 8. 施設設備管理係 | 1 9. その他全般的注意 |
| 9. 水泳医事係 | 2 0. 管理作業その他 |
| 10. 渉 外 係 | 2 1. 準備運動の1例 |
| 11. プールの清掃と注水計画 | |

○各学年の指導のねらいと内容(略)

6月30日 理科研究会 足教委 厚木指導主事指導

1. 研究授業

指 導 者	題 材
2の2 斎藤教諭	はのはたらき
3の4 高田教諭	虫めがね

5の1 清水教諭

魚の外形と生活

2. 研究した内容

・先行経験をだいにすることについて

比較する能力 < 操作上の能力(現にある)
 思考上の能力(先行)

・構造化すること……(どんな順序でするか) ・総合的比較能力のつけ方

・発問のしかた ・器具の扱い方

7月5日

1. 評価(通信票の記入)の研修

(1) 学習のようす

宮永 教諭指導

(2) 行動と性格のようす

(3) 活動の記録

(4) 通信のらん

学習と行動にわけないで、自由に参考となる点で知らせる必要があるものを記入

(5) 健康のようす

以上 復習の意味で共通理解をはかる。

2. スポーツテストの集計

木村 教諭指導

(1) 50m走

(4) ボール投げ

(2) 幅とび

(5) ドリブル

(3) けんすい

(6) 逆上がり

5.6年 男女別に集計する方法について説明する。 6班にわかれ集計する。

7月19日

水泳実技研修

秋山教諭指導

1. 水泳前の心得 2. 入水の時・入水後

3. 段階をおった指導

例 3年 伏せ面, 水中ジャンケン, 石拾い

4年 面かぶり, しずみ方, うき方, 立ち方, ばた足

5年 クロール, 平泳ぎ, さかとびこみ

6年 潜水

4. 人命救助

8月23日

学校評価について

足教委 大滝指導課長指導

1. 学校評価の考え方, 重点

2. 手びきの評価対象と構成

3. 評価の方法

4. 評価結果の処理・活用

「学校評価と活用」を参考にするとよい。

(リーフレット 4.2.2.1)

9月8日 体育研究会

県教委 大和田指導主事指導

1. 研究授業

指導者

題 材

1の3 山本教諭

徒手体操, きしゃごっこ, 置きかえりレー

4の1 木村教諭

鉄 棒

6の2 秋山教諭

水 泳

2. 研究したおもな内容

(1) つぎの走者にタッチする場合

(4) 水泳指導(技能)

(2) リズム運動(曲, 隊形, 評価)

(5) 補強運動(新しい概念)

(3) 鉄棒運動(教材配列と技術的な指導)

(6) 体力づくり

9月12日 学校訪問

教育事務所 大島管理主事

1. 教室訪問

足教委 小林管理係長

2. 諸帳簿検閲

3. 全体指導

9月20日 研究集会の報告

1. 特別教育活動

斎藤教諭

児童の自発的, 自治的な活動をのばす指導計画の作成は, どうすればよいか。

。クラブ活動について 。 児童会の組織, 活動

2. 家庭

長谷川教諭

指導計画をどのようにたてたらよいか。

。調理教材のたて方 。 調理の技能をどこで, どのようにたてるか

。施設設備について

9月29日 算数研究会

足教委 川上指導係長指導

1. 指導者

題 材

1の1 桜井教諭

わ な げ

4の3 須永教諭

おつりの求め方

5の1 清水教諭

そろばんのかけ算

2. 研究したおもな内容

(1) 目標のたて方について

(3) 個別指導について

(2) ことばの式と数を結びつける指導

(4) 学習ハンドブックの解説

10月6日 社会科研究会

足教委 茂呂主事指導

1. 研究授業

授業者

題 材

6の2 秋山教諭

文明開化

1の3 山本教諭

うちのひと

4の1 木村教諭

山地に開けた町

2. 研究したおもな内容

(1) 基本構造のとらえかた(対 比)

典型事例について

(2) 話し合いのさせ方(生活経験から)

(3) 学習のあり方「どう考えさせるか」

「どの事実をどうやって」 「この場面のここを考えさせる」

(4) 景観指導について

10月12日 職員研修(出張報告)

- | | |
|--------------|------|
| 1. 体育実技講習会 | 荒井教諭 |
| 2. 児童生徒指導研修会 | 真尾教諭 |
| 3. 理科講習会 | 荒井教諭 |
| 4. 算数研究会 | 卯月教諭 |
| 5. 学校行事等全国大会 | 宮永教諭 |
| 6. 道徳研究会 | 高田教諭 |

10月17日 小学校教科研究会

10月25日 理科研究会 栃教委 岡田指導主事指導

1. 研究授業

授業者	題 材
1の1 桜井教諭	あきのくだもの
6の2 秋山教諭	ふりこのふれかた
3の1 石島教諭	水でっぽうのしくみ

2. 研究したおもな内容

- | | |
|--------------|--------------|
| (1) 発問のしかた | (4) 集団思考のさせ方 |
| (2) 仮設のたてかた | (5) 実験板の利用 |
| (3) 製作教材について | |

11月7日 児童指導 指導センター 和田指導主事指導

1. 指導センターについて

2. カウンセリングの原理と方法

・カウンセリングの意義 ・方法 ・カウンセラーの心構え ・面接の進め方

11月15日 国語研究会 足教委 時田指導主事指導

1. 研究授業

授業者	題 材
1の2 長谷川教諭	じゅんじょよく
3の3 荒井教諭	日本にはなぜ木で作った家が多いか
5の2 丸山教諭	嘉納治五郎

2. 研究したおもな内容

- (1) 作文の批評のしかた

(2) 説明文の読解指導

(3) 作文の指導過程について

・記述前 記述中 記述後の指導

(4) 教科書・教材の扱い方

11月29日 職員研修(体育実技) 荒井教諭

1. 徒手体操

・歩き方 ・手をふる ・手具 ・仰臥姿勢 ・歩の運動 ・肩関節 ・二人組体屈

2. とび箱運動

・またぎこし ・ふみこし ・腕立てとび上がり ・閉脚とびこし ・横とびこし

3. マット運動

・横まわり ・前まわり ・ゆりかご

12月8日 社会科研究会 足教委 茂呂指導主事指導

1. 研究授業

授業者 題材

1の1 長谷川教諭 ふゆのくらし

5の3 宮永教諭 重工業の発達

2. 研究したおもな内容

(1) 思考力を伸ばすための発問

(2) 学習過程

・事実認識(教材) ～を～の立場から

思考 調べなさい

・意味は握 ～と～のちがいを(共通)考えましょう。

・学習の一般化 ～と～のつながりを考えましょう ～を支えている条件は

12月11日 校内女教員研修会 学 校 長

12月13日 職員研修 柴崎教諭指導

ボール運動(サッカー)

1. 各技能の指導の要点 3. ラインサッカー 3.4年のねらい

2. 簡易サッカー 5.6年のねらい 4. 練習

12月26日 職員研修 漆原教頭

学校行事について

1. 時数のとり方

2. 学校行事等の年間授業時数の算定

(1) 祝日・休業日・日曜日別の年間日数 (3) 三領域以外に充当できる時数計算

(2) 授業時数 (4) 学校行事等の実施可能時数

1月10日 職員研修 木村教諭指導

ボール運動(ボートボール)

1. 各学年の系統的指導の要点

1月17日 算数研究会

2. ゲームをする

足教委 川上指導係長指導

1. 研究授業

授業者 題材

2の1 真尾教諭 5のだんの99

3の1 石島教諭 円

6の1 卯月教諭 問題の考え方

2. 研究したおもな内容

(1) 学習訓練

(3) 準備テストの作り方

(2) 文章題のとき方(立式のしかた)

(4) 倍数概念, 名数の扱い方

1月24日 特殊学級の開設について

足教委 厚木指導主事指導

1. どんな形で進めるか

2. 生活単元学習 (現職教育資料 166)

授業構造をつくる

3. 特殊教育のねらい

どう指導するか

1月31日 理科研究会

足教委 厚木指導主事指導

1. 研究授業

授業者 題材

2の3 堀越教諭 ふゆのてんき

3の4 高田教諭 寒剤づくり

6の4 小堀教諭 電熱線の太さのちがい

2. 研究したおもな内容

(1) 記録をとる学習の指導

(3) 計器類の扱いおよび指導

(2) 考察, 観察するときの問題点

(4) 有効な発問とは

2月2日 職員研修

視聴覚器具の利用(プリントを配布)

1. 幻燈機の扱い方

教頭指導

2. テープレコーダーの扱い方

小堀教諭指導

3. 放送・録音のしかた

秋山教諭指導

(低・中・高のブロックごとにわかれて実施)

2月7日 職員研修

漆原教頭指導

本年度の学校評価と来年度の計画

特別研究委員会を組織し研究をすすめる

第1班 宮永・長谷川・秋山・丸山・小堀・小島

おもな内容 ・学校経営方針 ・昭和43年度の重点

・努力目標・努力点　　・現職教育計画

第2班　清水・桜井・卯月・山本・須永・多田

おもな内容　・校務分掌の組織　・職務内容

第3班　木村・真尾・斎藤・荒井・豊田

おもな内容　・学校行事　・学校行事等の精選　・年間行事計画

第4班　石島・高田・豊田・柴崎・中島

おもな内容　・環境美化　・安全教育　・情操教育

第5班　堀越

おもな内容　・特殊学級の設置　・経営計画　・教育計画

2月14日　特別研究委員会

2月21日　特別研究委員会（学習発表会のため中止）

2月28日　特別研究委員会

3月分　略

4 実践に対する反省

(1) 計画のたて方について

現職教育計画表のように、年間を見通しの上に研修時間、内容を明確に位置づけた点は参考にし続けていきたい。

研究の対象，方法等を明確にするということにやや問題がある。

(2) 計画のように実施できたか

研修時間を確保し，合理的，能率的運営と全職員の協力によって，実践記録にあげたように実施することができた。

実施にあたって，研修の事前に，当日のねらいと問題点を今年度よりいっそう明確に焦点化をはかる必要がある。

各研究部独自の研究が持たれなかったため，掘りさげて研究ができなかった。

(3) 実施後の効果

学校全体のレベルアップ，それが子どもの実力向上に，この現職教育を実施したことが役だっていることを確信する。

なお，計画的な運営が事務の能率化となり，時間の余裕をうみだす好結果となっている。

(4) 改善すべき点について

- 研究授業を見学するための自習時間を少なくすること。それには，低学年は午前中（水曜日）授業とし，五校時を研究授業の時間とする。
- 研究教科をしほり重点的に研修する。
 - 例　算数　指導法の研究をする。
 - 理科　教材研究をする。
- 資料を研究し，活用する時間を設ける。

研究所報、リーフレット、指導資料、ハンドブック等を研究し指導に役立てる。

- 教科担任制を研究する。
- 教科研究部の活動をさかんにする。

指導計画の改善、教具の整備、学習内容の構造化をはかる。

- 研修日をつぎのようにする。

火曜日 教科研究日

水曜日 全体研修日

木曜日 学年研修日

- 授業時間の確保と研修

以上、御厨小学校の現職教育として実践してきた概要をまとめ、みなさま方の叱正をお願いする。

感 想

本記録は、実施状況が整然と記録され、さらに年間の反省事項が付記されている等、じゅうぶん参考とするに足るものでありましょう。なお、現職教育計画について欲を言えば、学校の年度の重点・努力点に関連して主題内容を重点的に配し、一見してその学校の重点・努力点がわかるようなものであることが望ましいでしょう。また、この実施記録は次年度計画の改善資料となるべきものでありますから、できるだけ各研修ごとに改善の参考になるような反省事項を付記されることが、さらに望ましいことになりましょう。